

布団



牡丹唐獅子布団地 個人蔵



牡丹に剣片喰紋布団 個人蔵



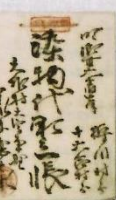
牡丹模に隔立て四つ目紋布団地 個人蔵



紺屋免許鑑札
(明治10年8月)



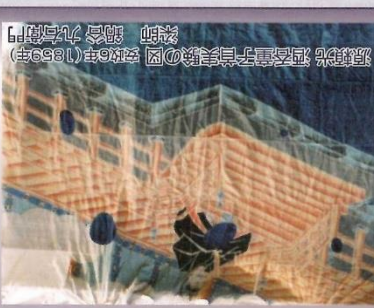
荒木徳兵衛染屋文献
(余目南野)



染物掛取帳
(明治35年)



藍葉買入代金請払帳 (明治34年)



藍染の風景



丸に三つ柏紋鶴亀松竹梅大暖簾
個人蔵

第138回 企画展示

生活を潤す自然の素材
くらしと藍染

| | |
|------|-------------------------------------|
| 開催期日 | 平成17年9月15日(木)～11月27日(日) |
| 開館時間 | 午前9時～午後4時30分 |
| 休館日 | 期間中無休 |
| 入館料 | 大人/100円 児童・生徒/50円 65歳以上と障害者の方は無料 |

酒田市立資料館

住所 酒田市一番町8-16
TEL 0234-24-6544

～開催にあたって～

藍は染料として飛鳥、奈良時代にはすでに用いられていましたが、藍の需要が多くなるのは、木綿が庶民の衣服として普及し始めた江戸中期以降です。

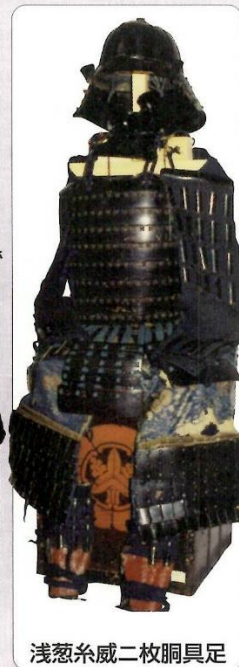
江戸時代後期になると虫除けの薬効をもつということから野良着から手ぬぐいまで身につけるものすべてを藍で染めたともいわれています。

今回の企画展では、生活に密着し、生活を支えてきた藍染の品々や藍が染料になるまでの工程、藍の染め方等を写真やパネル等でご覧いただき、そして、藍染の持つ美しさを感じていただければ幸いです。

開催にあたり、多くの方々からご協力をいただいたことに、感謝申し上げます。



紺糸威最上胴丸



浅葱糸威二枚胴具足



小忌衣 (おみごろも)

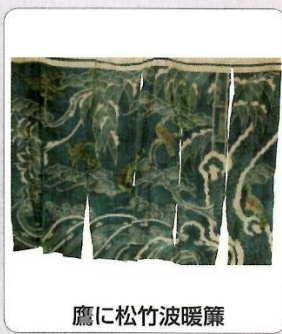


被衣 (梅花 茅屋山水文様)



アットウシ

暖簾



鷹に松竹波暖簾



丸に剣片喰紋波に千鳥
個人蔵



鶴亀松竹暖簾
個人蔵



丸に隅立て四つ目鶴亀松竹暖簾
個人蔵

風呂敷



丸に違い鷹の羽紋松竹梅祝風呂敷



唐花紋慰斗風呂敷



丸に三柏紋宝墨くし風呂敷



五七桐紋宝墨くし風呂敷

着物



丸に鳶紋袴



火消装束



ロングベスト(柿の花刺)
平田せしの会 藤原祥子氏作



丸に右三階松紋印袴纏



道中台羽



御所車流水松竹梅
文様襦袢



二部式和服
平田せしの会 藤原美枝子氏作



松牡丹庵木瓜紋大夜着